

上部消化管内視鏡検査説明書

上部消化管（食道・胃・十二指腸）について調べるために、内視鏡による検査を行います。

1. 内視鏡検査に使用する機器の適切な選択と検査後の消毒のため、事前にウイルス等の感染症（B型肝炎、C型肝炎、梅毒）を調べるための血液検査をさせていただきます。
2. 検査中に何か異常が疑われる場合には、引き続き精密検査をおこないます。たとえば、内視鏡下に安全な色素などを散布し、病変を明瞭にして診断の助けにすることがあります。
3. 良性・悪性などを診断するための病理検査や、ピロリ菌感染の有無を調べるためなどの目的で、粘膜組織の一部を採取すること（生検）があります。この場合、検査当日は激しい運動および刺激物（アルコール、香辛料など）の摂取を避けてください。なお、心臓や脳血管などの病気をお持ちで内服治療をされている方はお申し出ください。血液が固まるのを防ぐ薬を服用中の方や血液が固まりにくい病気の方は、出血がとまらなくなる可能性がありますので、原則として生検はおこないません。
4. のどを麻酔して検査を行いますので、検査後1時間位は飲食ができません。前処置に用いる薬剤や検査の苦痛を和らげるための鎮痙剤による影響のために目がちかちかしたり、眠気やふらつきが残ることがあります。このため検査当日のお車の運転は危険ですのでおやめください。万一、無理に運転して事故などをおこしても、当院は責任を負いかねます。鎮静剤などを注射した場合は検査終了後約1時間程度、安静室で様子をみてから帰宅していただきます。なるべく、同伴者と一緒に来院してください。
5. 検査が原因で咽頭痛（のどの痛み）や腹痛などが出現する可能性があります。通常数日以内に消失します。検査による重篤な合併症として、出血や穿孔などが発生することがあります。この頻度は、日本全国で検査を受けた方の約0.007%と報告されています。このような重篤な合併症が発生した場合には、再検査、輸血や手術も考慮した治療を適切にかつ迅速におこないます。検査が終了したあとで、万一吐血・黒色便・持続する腹痛などがありましたら、担当科医師もしくは検査医にご連絡ください。
6. 検査当日の状況により、検査予約時間通りに開始・終了できるとは限らないことをあらかじめご了承ください。

さいたま北部医療センター 病院長殿

1. 私は、上部消化管内視鏡検査とそれに伴う処置、およびその危険性と合併症およびその対処法について説明書の記載事項を読み、理解し、了承しました。なお、不明な点は検査時に担当医に質問します。
2. 私は、内視鏡の感染防止のための血液検査の必要性について理解し、了承しました。したがって私は、さいたま北部医療センター内視鏡部門において上部消化管内視鏡検査とそれに伴う処置を受けることに同意します。

平成 年 月 日

氏名（本人または代理人）

緊急時の連絡先（氏名・続柄）

TEL.